

妻籠水道水源保全地区の状況等に関する報告【令和6年10月まで】

概要

- ・原水取水流量は配水流量を上回っており、妻籠配水池の供給範囲内における水利用に支障は生じていないと考えられる
- ・中央アルプストンネル(山口工区)と妻籠第一・第二水源の間に設置してある深井戸及び浅井戸の変動は例年と同様であり、極端な水位低下の傾向を示していないことから、トンネル工事を起因とした水利用への影響は生じていないと考えられる。

① 中央アルプストンネル(山口工区)の掘削状況 (図1)

- ・掘削位置：県境から25m【10/30時点】
- ・水源位置との直線距離：1.73km(第一水源)、1.69km(第二水源)【10/30時点】
- ・掘削位置における土被り：555m【10/30時点】

② 妻籠水道水源における、原水・配水流量の状況 (図2)

- ・原水取水流量(第一水源+第二水源)：令和6年10月は413m³/日～502m³/日を推移
- ・配水流量：令和6年10月は330m³/日～387m³/日を推移
- ・集水井における水位：0.91m～1.04mを推移(第一水源)、0.55m～0.93mを推移(第二水源)

③ 水源と山口工区との間に存する観測井戸の状況 (図3)

- ・深井戸：過去の変動範囲と同様の挙動を示している
- ・浅井戸：過去の変動範囲と同様の挙動を示している

図1: 中央アルプストンネル(山口工区)の掘削状況

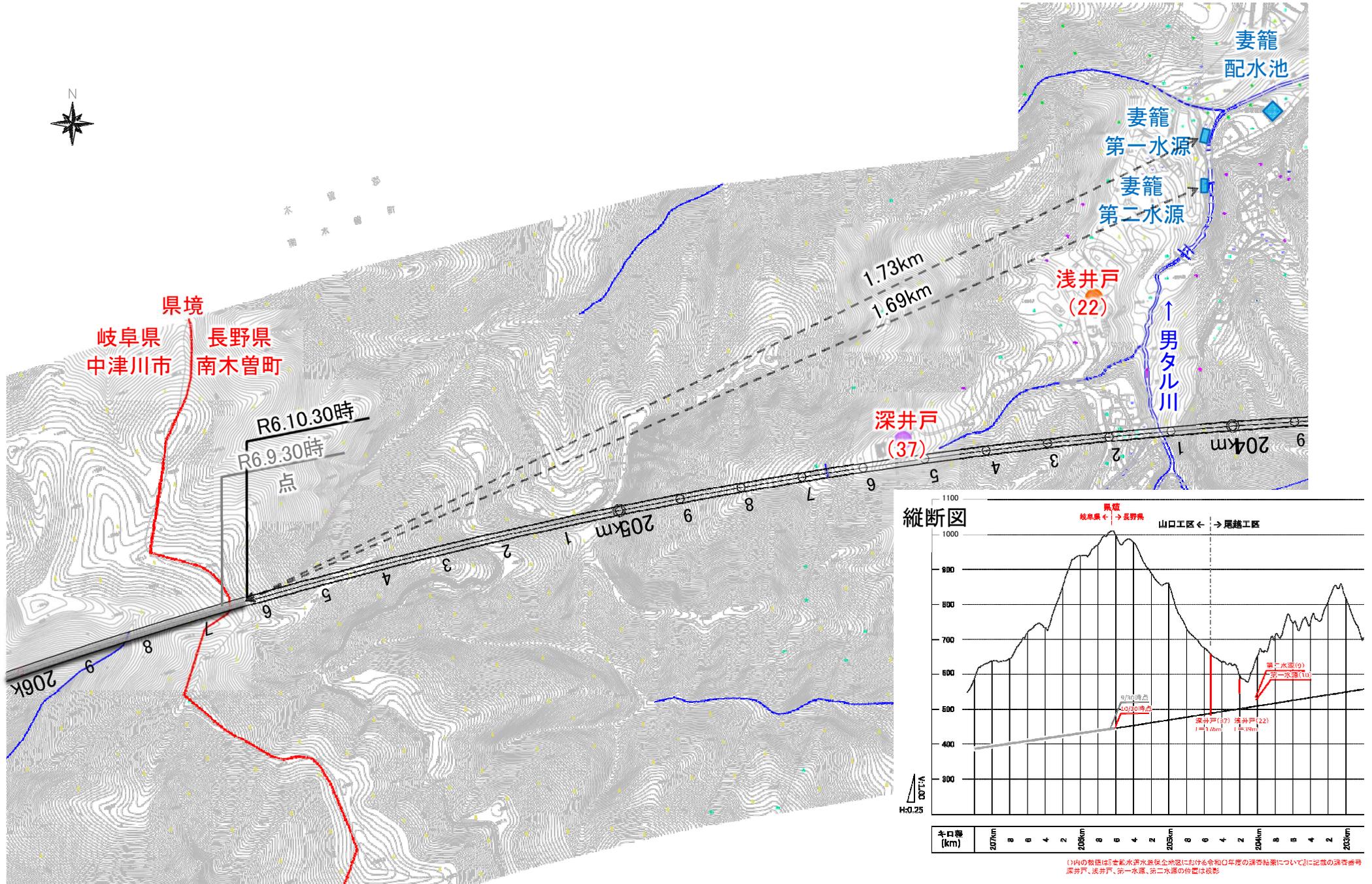


図2: 水源施設原水・配水量変動図(妻籠配水池)

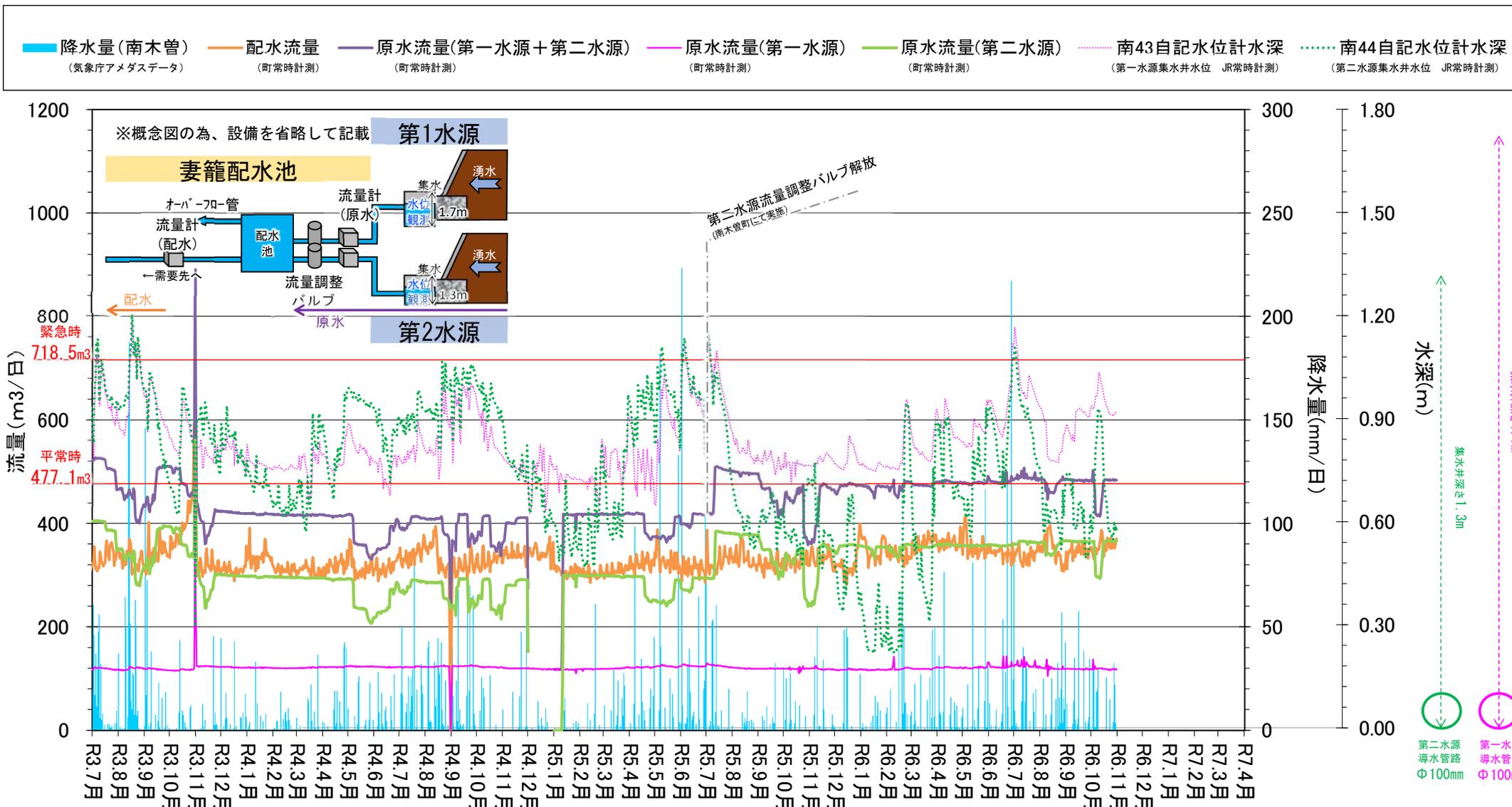


図3: 観測井の水位変動図(浅井戸・深井戸)

